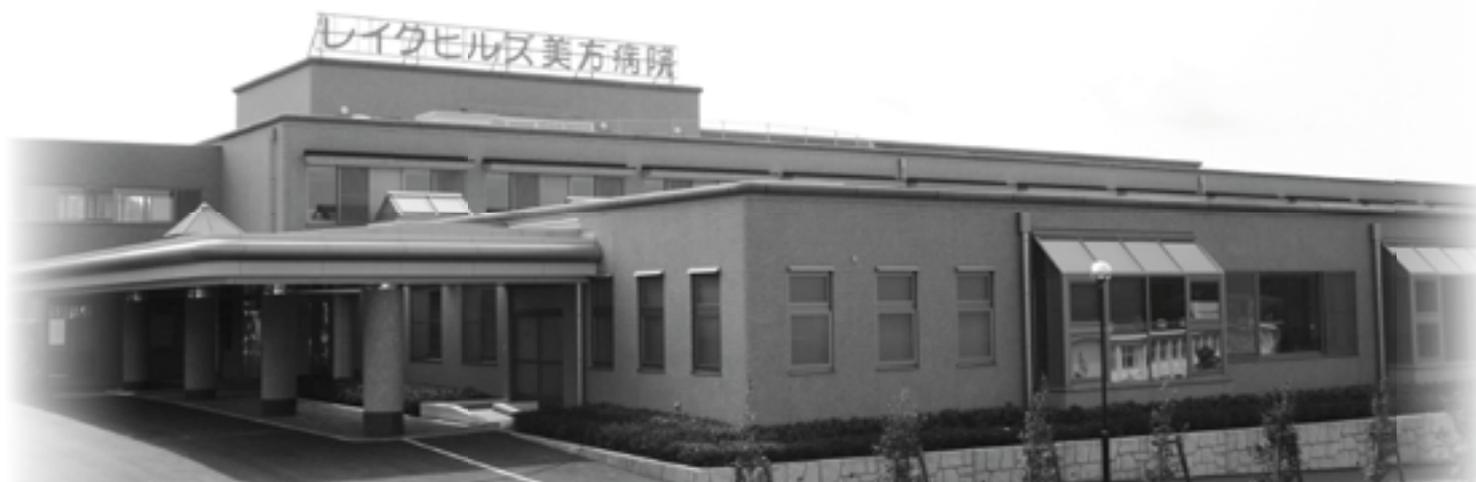


地域医療の中核を担い 皆様から信頼される病院をめざして



優良な病院として、機能評価の認定を受けました

レイクヒルズ美方病院は、病院に必要なすべての機能が一定の基準を満たしていると認められ、(財)日本医療機能評価機構から、「病院機能評価(バージョン5)認定」を受けました。

レイクヒルズ美方病院では、平成15年7月の開院以来、地域密着型の病院として皆さんに安心と信頼できる医療の提供を目指して病院業務を行ってきました。

平成17年2月には、外来棟、病棟などの施設整備が完了し、職員の意識改革や医療技術・患者サービスの向上など、より質の高い医療機関となるために、病院の通知表とも言える「病院機能評価」の認定を目指してきました。

※病院機能評価とは…

患者や地域の方々が適切な医療を安心して受けられるよう、第三者機関である(財)日本医療機能評価機構が、質の高いサービスを提供しているか、安全対策は確立されているか、病院運営は適切かなどの病院に必要な機能について、第三者の中立的な立場から評価するものです。

この評価は、各医療機関の優劣を比較するものではなく、それぞれの病院が自ら優れている点や改善すべき点を把握し、医療における一層の質の向上とサービスの充実につなげていこうとするものです。



認定書を手にする病院スタッフ

認定には、診療・看護・事務管理などさまざまな部門で高い「質」が求められ、医療の専門家による訪問審査では、病院内の全てが評価されました。

審査の結果、病院に必要なすべての機能が一定の基準を満たしていると認められ、8月21日付けで県内では19施設目となる「病院機能評価」の認定を受けました。

また、今回の認定は、最新かつ最高の評価基準であるバージョン5での認定となり、県内では初めての認定となりました。

『病院機能評価』 審査のポイント

●病院組織の運営と地域における役割

病院の理念や将来計画、地域との協力と連携などについて

●患者の権利と安全確保の体制

患者の権利と医療者の倫理、患者と医療者の協力関係などについて

●療養環境と患者サービス

職員の接遇や利用者との相談機能、バリアフリーやプライバシーの配慮などについて

●医療提供の組織と運営

診療、看護等の各分野の医療機能や診療記録管理などについて

●医療の質と安全のためのケアプロセス

看護や介護の過程における医療の方針と責任体制などについて

●病院運営管理の合理性

人事、経営、施設管理や病院の危機管理への対応などについて

●療養病床に特有な病院機能

療養病床への適切な受け入れや機能障害の判断とケアの適切性などについて



レイクヒルズ美方病院
西尾 宏之 院長

レイクヒルズ美方病院では、開設以来取り組んでまいりました病院機能評価の認定を受けることができました。さらに最新のバージョンでの認定は、県下初であり、職員一同大変誇らしく感じております。これも地域の皆様のご支援があつてのことと深く感謝しております。

今後は、これに慢心することなく、病院機能評価の認定水準の維持に努め、職員一人ひとりが責任と自覚を持ち、地域密着型病院として、「安心・安全・満足」の医療を実践し、地域の皆様に貢献できるように、努力し続けてまいります。

病院理念

私たちは、地域密着型病院として、安心・安全・満足の医療を実践し、地域から信頼される病院を目指します。

病院基本方針

- (1) 初期治療から高齢者医療まで、幅広い医療を提供します。
- (2) 周辺の地域医療機関との連携を図ります。
- (3) 患者様の権利や安全を尊重し、説明と同意に基づいた医療を行います。
- (4) 自治体病院として、公共性と経済性を大切にして、健全経営に努めます。
- (5) つねに自己研鑽に励み、医療の質の向上に努めます。

美浜発電所の状況



今回の報告では、9月16日から10月16日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

美浜1号機

運転中 (平成17年12月6日～)

美浜2号機

運転中 (平成18年6月22日～)

美浜3号機

第21回定期検査中

(平成16年8月14日～)

3号機では、町と県が5月26日に運転再開を了承した後、これまでに運転再開に向けての点検作業等が慎重・確実に行われるとともに、国の原子力安全保安院や原子

力安全基盤機構による種々の検査が行われてきました。

また、関西電力(株)では、長期停止後の運転再開となることから、慎重・安全を期すためにプラントを一旦試験的に起動し、運転中や停止後の点検を行ったうえで本格運転再開の時期を検討し、決定するとしてきました。

8月以降、試験的な起動に向け、非常用ディーゼル発電装置の機能試験や原子炉格納容器の気密試験、1次冷却材系統からの冷却水の漏れがないことの確認試験、緊急時に原子炉を止めるための制御棒駆動装置の機能検査などを実施しました。その検査内容について国等が確認し、全て良好であったことから、9月21日に原子炉を起動させました。26日には発電を開始し、点検を行いながら出力を徐々に上げていき、30日には定格熱出力一定運転(最大電気出力86万1千kw)に到達し、10月3日まで試験的な運転が行われました。

現在は、停止後の点検が行われています。主な点検としては、試験的な起動によって事故停止後、初めて水や蒸気を通したことによって、2次系統内に残った異物(錆やごみなど)がろ過機やストレーナ(網状のこし器)に付着していないかの確認やその清掃、また弁などの動作確認、プラントを起

動停止したことによる温度変化などによって起こるボルトの緩みなどプラント全体にわたっての確認が行われています。

立入調査

町は、今回の試験起動に際して、プラント起動前、起動操作時、定格熱出力一定運転時の三度にわたって、県とともに立入調査をし、関西電力(株)が行ってきた機器の健全性確認の状況、種々の試験結果やタービン建屋内の状況などの確認をしてきました。

また、10月16日には、県と県の原子力安全専門委員会(委員長 中川福井大学学長補佐)とともに立入調査を実施し、改めて試験運転の結果や現場の状況、更に再発防止対策の実施状況について確認をしました。



県とともに立入調査を行う正木助役(中央)

原子力関連施設警戒隊を激励



9月21日に、山口町長が関西電力(株)美浜発電所を訪ね、24時間体制で発電所の警備にあたる福井県警原子力関連施設警戒隊を慰問しました。

美浜発電所では、警備隊の隊員らによる厳重な警備のもと、運転が行われています。

山口町長は、隊員らに「皆さんのおかげで発電所の安全が守られていることに感謝します。引き続き発電所の安全・安心のために厳重な警備をお願いしたい」と、激励の言葉をかけました。



平成18年第5回美浜町議会定例会が9月12日から21日まで開会され、次の内容について審議・議決されました。

平成18年 第5回 美浜町議会定例会

平成18年度補正予算

● 一般会計（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ507,534千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ7,446,456千円になりました。

予算の款	補正額(千円)	増減	主な補正事由
議会費	△1,510	減額	臨時雇賃金減 ほか
総務費	124,823	増額	地域コミュニティバス運行事業、身障者用駐車場整備工事費、美浜駅地域活性化促進施設整備事業 ほか
民生費	25,480	増額	知的障がい者グループホーム事業、地域生活支援事業、就労継続支援事業、就労移行支援事業、はこべの家かぐや姫工場運営費補助、臨時保育士賃金、保育備品等購入 ほか
衛生費	5,320	増額	妊婦・乳児健康診査事業、公共下水道事業特別会計繰出金 ほか
農林水産業費	212,228	増額	やる気のある園芸産地づくり支援事業、産業祭開催事業、県営かんがい排水事業、地域水利施設活用事業、県単林道事業、県単小規模荒廃治山事業、県営広域漁港整備事業負担金 ほか
商工費	8,915	増額	三方五湖広域観光協議会特別事業負担金、海の暮らし館管理費 ほか
土木費	96,052	増額	道路維持事業、道路新設改良事業、河川整備事業、県営砂防事業負担金、町単急傾斜地崩壊対策事業 ほか
消防費	626	増額	防災訓練経費
教育費	35,600	増額	小中学校教材備品購入、町民文化祭事業、美浜・五木ひろしまラソン準備事業、町民広場管理費、海洋センター管理費、総合運動公園管理費 ほか
合計	507,534	増額	

● 特別会計

・国民健康保険事業（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ157,816千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ1,194,365千円になりました。

予算の款	補正額(千円)	増減	主な補正事由
総務費	2,176	増額	電算処理業務委託料
保険給付費	29,738	増額	退職被保険者等療養給付費 退職被保険者等高額療養費
共同事業拠出金	125,902	増額	保険財政共同安定化事業 拠出金

・介護保険事業（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ14,989千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ807,304千円になりました。

予算の款	補正額(千円)	増減	主な補正事由
財政安定化基金拠出金	116	増額	財政安定化基金拠出金
諸支出金	14,873	増額	介護給付費負担金精算 返還金

・診療所事業（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ158千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ150,201千円になりました。

予算の款	補正額(千円)	増減	主な補正事由
医療費	158	増額	丹生診療所・ 東部診療所修繕料

・公共下水道事業（第2号）

歳入歳出予算にそれぞれ3,161千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ888,784千円になりました。

予算の款	補正額(千円)	増減	主な補正事由
公共下水道事業費	3,161	増額	管渠・処理場修繕料

・簡易水道事業（第1号）

歳入歳出予算にそれぞれ4,286千円を追加し、歳入歳出予算の総額がそれぞれ138,432千円になりました。

予算の款	補正額(千円)	増減	主な補正事由
簡易水道事業費	4,182	増額	新庄簡易水道・東部簡易水道第一給水区修繕料
公債費	104	増額	長期債償還利子